

令和4年度 地域振興会議開催スケジュール

市民生活部地域振興課

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
上旬	<p>第1回地域振興会議(単独またはブロック開催)</p>	<p>第2回地域振興会議(単独またはブロック開催)</p>		<p>第3回地域振興会議(単独またはブロック開催)</p>	<p>第3回地域振興会議(単独またはブロック開催)</p>		<p>第4回地域振興会議(単独またはブロック開催)</p>	<p>第5回地域振興会議(単独またはブロック開催)</p>		<p>第6回地域振興会議(単独またはブロック開催)</p>	<p>会議</p>	
中旬												
下旬												

令和4年度主な地域別事業一覧表

鹿野地域

(単位：千円)

課名	事業名	予算計上額	説明
男女共同参画課	男女共同参画啓発イベント開催事業費	96	講演会経費一式（毎年、西ブロックで持ち回り）
文化交流課	文化芸術推進事業補助金	1,000	鳥の演劇祭開催費補助
情報政策課	超高速情報通信基盤整備事業費	105,887	通信光サービスの開始に伴う、引込・宅内修繕及び局舎内放送機器整備
地域振興課	人材誘致・定住促進対策事業費	700	空き家運営経費
地域振興課	買い物支援事業	2,454	移動販売車による買い物支援・見守り活動
協働推進課	町内集会所建設等補助金	597	町内会集会所の修繕・改修等
観光・ジオパーク推進課	鹿野往来交流館管理運営費	18,159	鹿野往来交流館指定管理料
観光・ジオパーク推進課	鳥取市道の駅管理運営費（道の駅西いなば気楽里）	528	受水槽修繕費
観光・ジオパーク推進課	観光地施設整備事業費	62	観光駐車場除草業務委託費
農政企画課	農産物加工センター管理運営費	1,980	鹿野そば道場の施設管理経費
農政企画課	鳥取市戦略的園芸品目（イチゴ「とっておき」）総合対策事業費	525	イチゴ「とっておき」の安定供給と産地化に向け、栽培や育苗施設整備を支援
農政企画課	鳥取地どりブランド生産拡大支援事業費補助金	2,457	地どりの安定供給、販路拡大等を支援
農政企画課	野生鳥獣被害防止事業費	6,948	野生鳥獣の捕獲奨励金及び侵入防止柵設置等に対する支援
林務水産課	林道維持管理事業費	2,780	林道の舗装、路肩修繕、除草等維持経費
農村整備課	農道舗装補修等事業費	553	農道、用排水路等の農業用施設の整備及び補修に係る経費
農村整備課	多面的機能支払交付金	12,861	地域で行う農地維持や農業用施設の点検等の共同活動に対して支援
農村整備課	中山間地域等直接支払交付金	14,262	農業の生産条件が不利な地域において、農業生産に必要な水路や農道の維持管理等に関する活動を支援
交通政策課	住民参画型バス停上屋整備事業補助金	1,925	そば道場前バス停上屋新設委託業務
交通政策課	市町村有償運送事業費	11,595	気高循環バス運行委託費等経費等（鹿野地域）
都市企画課	街なみ環境整備事業費	2,428	鹿野城跡周辺の街なみ環境助成2件
都市環境課	都市公園等管理費	424	河川公園等の管理費等
道路課	道路管理費	5,426	道路施設管理緊急補修他
道路課	一般道補修費	4,000	一般道路補修工事
道路課	社会資本整備総合交付金事業費	16,000	岡井公民館線整備
道路課	交通安全施設事業工事費	122	カーブミラー、ガードレール等の交通安全施設修繕
建築住宅課	定期借地権付土地分譲事業費	11,299	湯川団地土地購入費他

令和4年度主な地域別事業一覧表

鹿野地域

(単位：千円)

課 名	事 業 名	予算計上額	説 明
教育総務課	大規模改造事業費（中学校）	58,452	鹿野学園王舎城学舎屋内運動場屋根改修事業
生涯学習・スポーツ課	地域運営型部活動推進モデル事業費	1,444	中学校部活動に関わる地域人材発掘及び研修等を総合型地域スポーツクラブに事業委託する経費
生涯学習・スポーツ課	体育施設管理費	767	鹿野町農業者トレーニングセンター屋外階段の手すり修繕
鹿野町地域振興課	鹿野地域活性化推進事業費	709	鹿野地域活性化に要する事業経費
鹿野町地域振興課	総合支所統括費	130	支所長経費（旅費等）
鹿野町地域振興課	鹿野わったいな祭事業費	1,939	「鹿野わったいな祭」の開催経費
鹿野町地域振興課	観光イベント開催補助金(鹿野桜まつり花火大会)	1,939	「鹿野桜まつり花火大会」の開催経費
鹿野町地域振興課	町民音楽祭開催費	3,200	鹿野町民音楽祭「ふるさとミュージカル」開催補助
鹿野町地域振興課	地区公民館事業費	457	ジュニア川柳大賞事業の実施に要する経費
鹿野町地域振興課	スポーツクラブ鹿の助委託金	267	各種スポーツ教室開催経費
鹿野町産業建設課	鹿野城跡公園管理費	3,681	鹿野城跡公園の維持管理費
	合 計	298,053	

第 1 回 鳥取市気高町・鹿野町地域生活交通協議会《概要》

令和 4 年 3 月 2 4 日（木）第 1 回開催

【設置の目的】

鳥取市気高町・鹿野町地域の今後の生活交通の在り方について必要な検討を行う。

1. 鳥取市気高町。鹿野町地域の生活交通に必要な整備に関すること。
2. 鳥取市気高町・鹿野町地域の生活交通の利用促進に関すること。
3. その他鳥取市気高町・鹿野町地域の生活交通の円滑な運営に関する必要な事項。

【委員】

連番	所属等	役職	氏名	備考
1	気高町自治連合会	会長	地原 伸	会長
2	宝木地区まちづくり協議会	副会長	原 克栄	
3	きらり☆浜村まちづくり協議会	会長	湯口 史章	
4	瑞穂地区まちづくり協議会	会長	塩田 則夫	
5	逢坂むらづくり協議会	会長	原田 信章	
6	酒津まちづくり協議会	副会長	港 弘子	
7	気高地域振興会議	代表	松井 千晶	
8	鹿野町自治連合会	副会長	高田 守	
9	鹿野まち普請の会	幹事	谷口 一真	
10	勝谷元気づくりの会	副会長	山田 薫	
11	小鷲河ふる里をまもる会	会長	田中 義宏	副会長
12	鳥取西商工会	代表	井上 清	
13	鹿野地域振興会議	委員	田中 文子	
14	鳥取市鹿野町総合支所	支所長	岡本 幸子	
15	鳥取市気高町総合支所	支所長	中原 登	
	事務局		鳥取市気高町総合支所 鳥取市鹿野町総合支所	産業建設課 産業建設課

【協議の内容】

1. 協議会の趣旨と現状報告
2. 市の方針を、「鳥取市生活交通創生日ビジョン」をもとに説明
3. 1 1 月～1 2 月に実施したアンケートの結果を報告
4. 2 年間の任期中おおむね 3 か月に 1 回開催し、令和 5 年度中には方向性を出すスケジュール

3. 基本理念と基本指針

1 ビジョンにおける基本理念

基本
理念

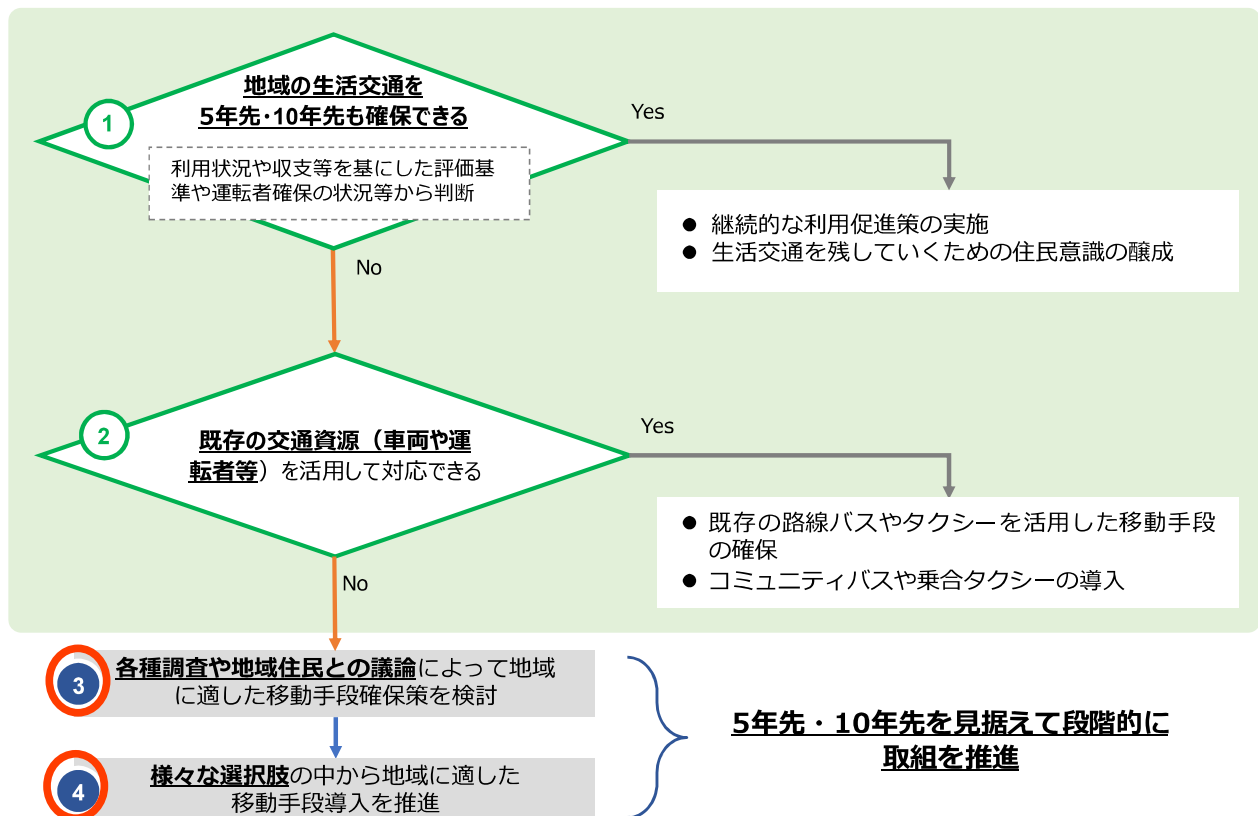
市民の暮らしを支える“生活交通”を創り・守り・育てます。

- ▶ 生活交通を市民生活の基盤とし、それらを持続可能なものにしていくため、市・交通事業者・地域住民の協働・連携と創意工夫により、生活交通を“創り・守り・育て”ます。
- ▶ 市が中心となって、生活交通に関わる関係者と連携し取組を進めていきます。

2 ビジョンにおける基本指針

基本指針①：地域の移動を支える生活交通の確保

- 現在の運行形態やサービス水準を当面維持することができる路線については、それを維持できるよう努め、運転者不足や運転者の高齢化、利用者の減少によって、現行の運行形態やサービス水準の確保が困難になることが見込まれる場合は、代替交通を検討します。
- 代替交通の検討にあたっては、既存の交通資源（車両や運転者等）の活用を検討し、困難な場合は、共助交通等の複数の選択肢の中から、適切な移動手段の導入を検討します。
- 交通空白地域となっている地区や集落においては、その解消に努め、既存の生活交通による対応が難しい場合は、複数の選択肢の中から適切な移動手段の導入を検討します。



▲ 生活交通の維持・確保に向けた検討フロー

気高町・鹿野町における公共交通の現状と課題について

1 地域における公共交通の課題

(1) これまでも生活交通の危機に直面

- 気高循環バスは運転者不足の深刻化に伴い、令和元年10月から鹿野町の貨物運送会社が市と連携協定を結び、現在は全便の運行を担っています。
- 浜村青谷線は、採算性の悪化や運転者不足・運転者の高齢化により令和2年3月に乗合タクシーとしての運行を廃止し、現在は市の直営路線として存続しています。
- 令和3年3月をもって、地域のタクシー事業所(日本交通浜村営業所)が廃止となり、**気高・鹿野エリア一体ではタクシーの利用が困難な環境**となっています。

(2) 既存路線の利用者は減少傾向で行政支出も高止まり

- 地域の生活交通を将来に渡って残していく必要があるものの、依然として市有償バスの利用者は減少傾向で、コロナ禍や運行事業者の変更等を経て、行政支出は高止まりしています。
- 今後、**このような状況が続けば、更なる効率化を迫られ、サービス水準が低下し、利用者の減少が続くという悪循環に陥りかねない状況**です。
- 市の支出額(年間)は23,707千円で増加傾向である。

表 鳥取市有償バス利用者数と支出額(R2年)

路線名	1便あたり利用者数	市支出額
気高循環バス	2.75人/便	23,707千円
浜村・青谷線	1.33人/便	1,577千円

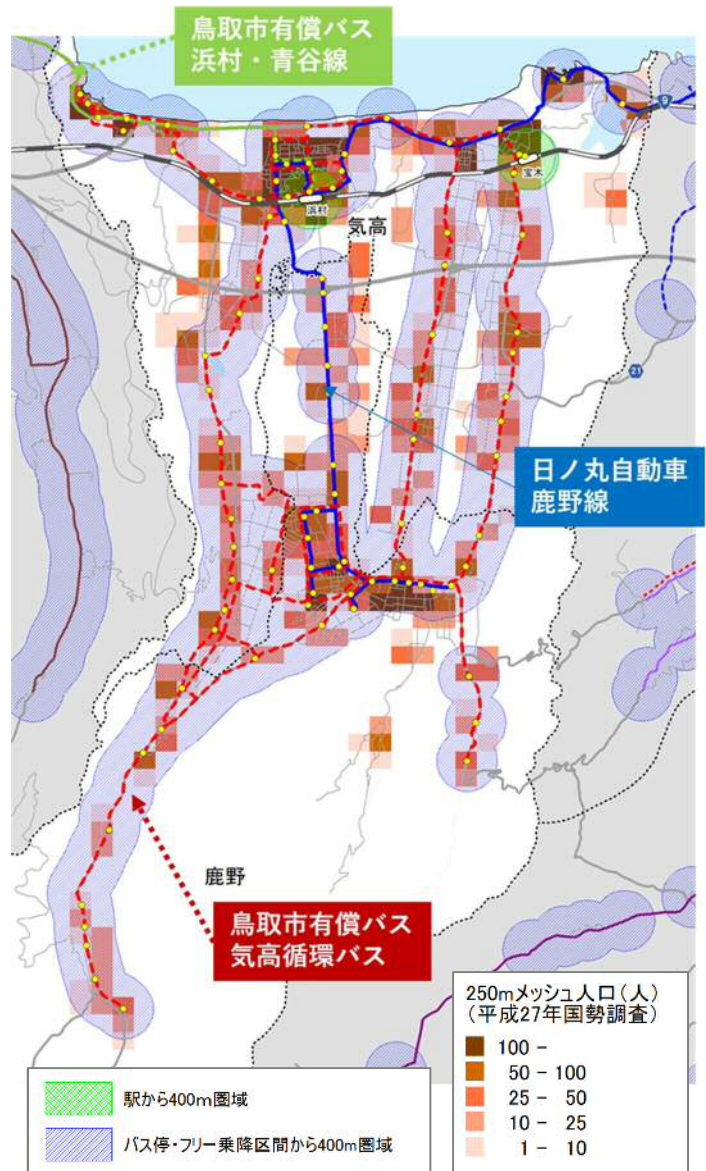


図 地域の生活交通とバス停 400m圏域人口

(3) 生活交通を利用しにくい地域が点在

- 現在、**バスの運行ルートから離れた地域・集落**ではバスを利用するため、400m以上の距離を歩く必要があります。

<バス停から離れた集落が存在する地域>

気高町：会下、下原、日光、奥沢見、上光等の一部
 鹿野町：中園、宮方、乙亥正、岡木、寺内、水谷等の一部

<現時点で想定される地域に適した移動手段の選択肢>

選択肢	内容・イメージ
市の直営による運行 (市町村運営有償運送)	<ul style="list-style-type: none"> ● 市が車両を購入し、市で運転者を雇用もしくは交通事業者へ委託する形で運行する。 ● 本市においては、市が運営している本形態の生活交通として、気高地域・鹿野地域で運行している気高循環バスや青谷地域で運行している絹見バス、河原地域・用瀬地域・佐治地域で運行している南部地域有償バス（鳥取市有償バス）が該当する。
共助交通（公共交通空白地有償運送）	<ul style="list-style-type: none"> ● NPO 法人や地域の自主組織（まちづくり団体）等の非営利団体が自家用自動車を使用して運送する形態である。 ● 本市では末恒地区で運行しているふるさとバスや大和地区で運行している大和ふれあいタクシーが該当する。また、導入や運行に対する補助等、市で支援制度を設けている。 ● 地域住民が主体となって運行計画を作ることができるため、地域の実情に合わせた、きめ細やかな運行が可能となる。また、利用者が運送の対価を支払うことになるため、無償の輸送に比べて持続性が期待できる。
旅客運送事業者以外（異業種）との連携	<ul style="list-style-type: none"> ● バスや乗合タクシー等の運行を担う受け皿として、貨物運送事業や建設業等からの参入を積極的に検討する。 ● 気高循環バスにおいては、令和元年 9 月に、鹿野町の貨物運送会社が鳥取市と連携協定を結び、気高循環バスの運行を担うことになった。
タクシーの活用	<ul style="list-style-type: none"> ● 路線バスや乗合タクシー等の運行が困難な地域において、タクシーを活用し、移動手段を確保する。
スクールバスの運行	<ul style="list-style-type: none"> ● 登下校時の時間帯に限り、各集落と最寄りの小中学校との間を結ぶスクールバスを運行し、住民の一般混乗も可能とすることで輸送の効率化を図る。
自動運転の導入	<ul style="list-style-type: none"> ● 運転者を必要としない自動運転車両を導入することで、交通事業者の低い採算性や人手不足といった問題を解消する。
無償運送（住民が主体となった互助による輸送）の導入	<ul style="list-style-type: none"> ● NPO 法人や地域の自主組織（まちづくり団体）等の非営利団体が自家用自動車を使用して、無償で輸送する形態である。 ● 共助交通（交通空白地有償運送）と同様に、地域が主体となった運行計画をつくることのできる一方で、有償運送に比べると持続性や安全確保といった点が課題となる。



▲ 市の直営による運行（気高循環バス）



▲ 共助交通（ふるさとバス・末恒地区）

2 アンケート調査結果

地域の移動実態や公共交通の利用実態、移動手段確保における意向を把握し、今後の交通手段確保策の検討や気高循環バス見直しに向けた基礎資料を得るため、鳥取市気高町・鹿野町の全世帯を対象にアンケート調査を実施しました。（アンケート調査結果から一部を抜粋してご報告します）

(1) 調査の概要

調査対象	鳥取市気高町（2,551世帯）、鹿野町（1,105世帯）の全世帯 計 3,656世帯の各世帯につき3部ずつ調査票を配布
調査方法	総合支所や自治会等を介して配布 全集落から回収（実施期間：令和3年11月～12月）
回収状況 （世帯）	全体・・・回収世帯 2,146世帯（回収率：58.7%） 気高町・・・回収世帯 1,458世帯（回収率：57.2%） 鹿野町・・・回収世帯 688世帯（回収率：62.3%）

(2) 回答者の属性

① 回答者の年齢層

- 全回答者のおよそ60%、運転免許を持っていない人は80%以上が60歳以上でした。
- 多くの方は自由に使える車がありますが、13.5%の人が送迎を頼んでおり、6.8%の方は自由に使える車はないと回答しています。

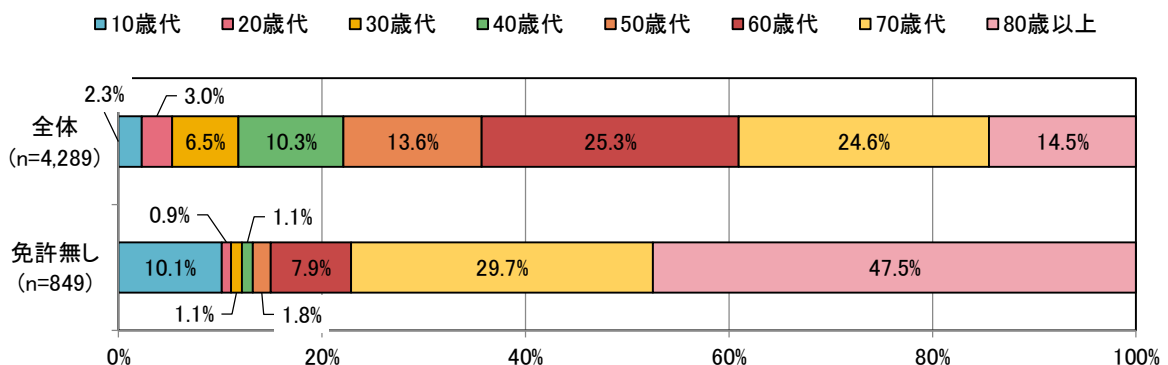


図 アンケート調査回答者の年齢

② 車を自由に使えない人の状況（地域別）

- 各地区で車を自由に使えない人が生活しており、割合に大きな違いはないが、気高町では酒津、浜村、鹿野町では小鷲河が若干高くなっています。また、人数だけで見ると浜村が多いです。
- なお、「車を自由に使えない人」については、運転できない人だけではなく、家族に送迎を頼めない人も含まれます。

表 気高町・鹿野町でバスを利用している人

地区	アンケート回答者数(人)	自由に使える車がない人(人)	地区の中で自由に使える車がない人の割合
酒津	165	12	7.3%
瑞穂	391	18	4.6%
逢坂	397	20	5.0%
浜村	1,258	110	8.7%
宝木	577	31	5.4%
不明	148	10	6.8%
計	2,936	201	6.8%

地区	アンケート回答者数(人)	自由に使える車がない人(人)	地区の中で自由に使える車がない人の割合
鹿野	578	28	4.8%
勝谷	502	25	5.0%
小鷲河	256	22	8.6%
不明	45	4	8.9%
計	1,381	79	5.7%

(3) 移動の目的地(町別)

- 多くの方がエスマート（浜村）を買い物先として挙げています。また、旧鳥取市域の買い物先等も挙げられました。
- 一方で、通院先・医療機関については地域で違いが見られ、気高町では「よねだクリニック」、鹿野町では「乾医院」を通院先として選択されている方が多い状況です。

表口よく行く買い物先・商業施設

買い物先		気高町 (n=2,111)	鹿野町 (n=955)	合計 (n=3,065)
エスマート	浜村店	853	321	1174
	店舗不明	486	179	665
	湖山店	35	9	44
	徳尾店		4	4
	打吹店		1	1
ウェルネス	気高店	234	72	306
	店舗不明	216	63	279
	湖山店	5		5
	徳尾店	1		1
	片原店		1	1
イオン	鳥取北店	261	117	378
	店舗不明	10	5	15
	鳥取店	9	1	10
	日吉津店	1		1
	岡山	1		1
サンマート	湖山店	114	49	163
	店舗不明	89	41	130
	青谷店	16	5	21
	西店	3	8	11
トライアル	店舗不明	130	59	189
	鳥取千代水店	56	31	87
	叶店	2	3	5
	琴浦店	1		1
原田フードセンター		57	164	221
マルイ	湖山店	87	33	120
	店舗不明	35	21	56
	宮長店	3	1	4
	国府店		1	1
	薬師町店		1	1
ジュンテンドー	店舗不明	56	27	83
	浜村店	24	8	32
カインズ	カインズFC鳥取店	59	55	114
	昭島店		1	1
ラ・ムー	店舗不明	45	26	71
	鳥取店	19	7	26
	倉吉店	5		5
	鳥取東店	2	2	4

表口よく行く医療機関・通院先

通院先	気高町 (n=1,693)	鹿野町 (n=783)	合計 (n=2,476)
乾医院	232	326	558
よねだクリニック	361	36	397
鹿野温泉病院	163	128	291
鳥取県立中央病院	171	82	253
鳥取赤十字病院	95	35	130
浜村診療所	108	7	115
鳥取生協病院	73	28	101
鳥取市立病院	50	32	82
稲垣歯科医院	30	42	72
北浜歯科クリニック	53	13	66
すどう歯科医院	45	19	64
いなだ歯科医院	50	6	56
鳥取市	40	13	53
よしだ内科医院	43	4	47
尾崎病院	28	11	39
さとに田園クリニック	25	9	34
太田原医院	26	1	27
田中医院	26	1	27
湖山	14	12	26
鳥取医療センター	15	10	25
よろずクリニック	20	3	23
もとむら眼科医院	17	6	23
明穂整形外科	19	3	22
かわぐちクリニック	9	13	22
上山整形外科医院	18	3	21

(4) バス利用の状況(地域別)

- 割合に大きな違いは見られませんが、気高町では酒津、鹿野町では勝谷が比較的高くなっています。
- バスを利用している人の数だけで見ると浜村と勝谷が多いです。(ただし、本アンケート調査の回答者は児童・生徒の回答が少なく、高齢者に偏っている点を留意する必要があります)

表 気高町・鹿野町でバスを利用している人

地区	アンケート回答者数(人)	普段バスを利用している(人)	地区の中で普段バスを利用している人の割合	地区	アンケート回答者数(人)	普段バスを利用している(人)	地区の中で普段バスを利用している人の割合
酒津	165	18	10.9%	鹿野	578	33	5.7%
瑞穂	391	20	5.1%	勝谷	502	44	8.8%
逢坂	397	18	4.5%	小鷲河	256	19	7.4%
浜村	1,258	55	4.4%	不明	45	5	11.1%
宝木	577	28	4.9%	計	1,381	101	7.3%
不明	148	16	10.8%				
計	2,936	155	5.3%				

(5) バスに対して不便を感じる点

- バスに対して不便を感じる点としては「運行本数が少なくて待ち時間が長い」「利用したい時間に便がない」ことが比較的多く挙げられました。

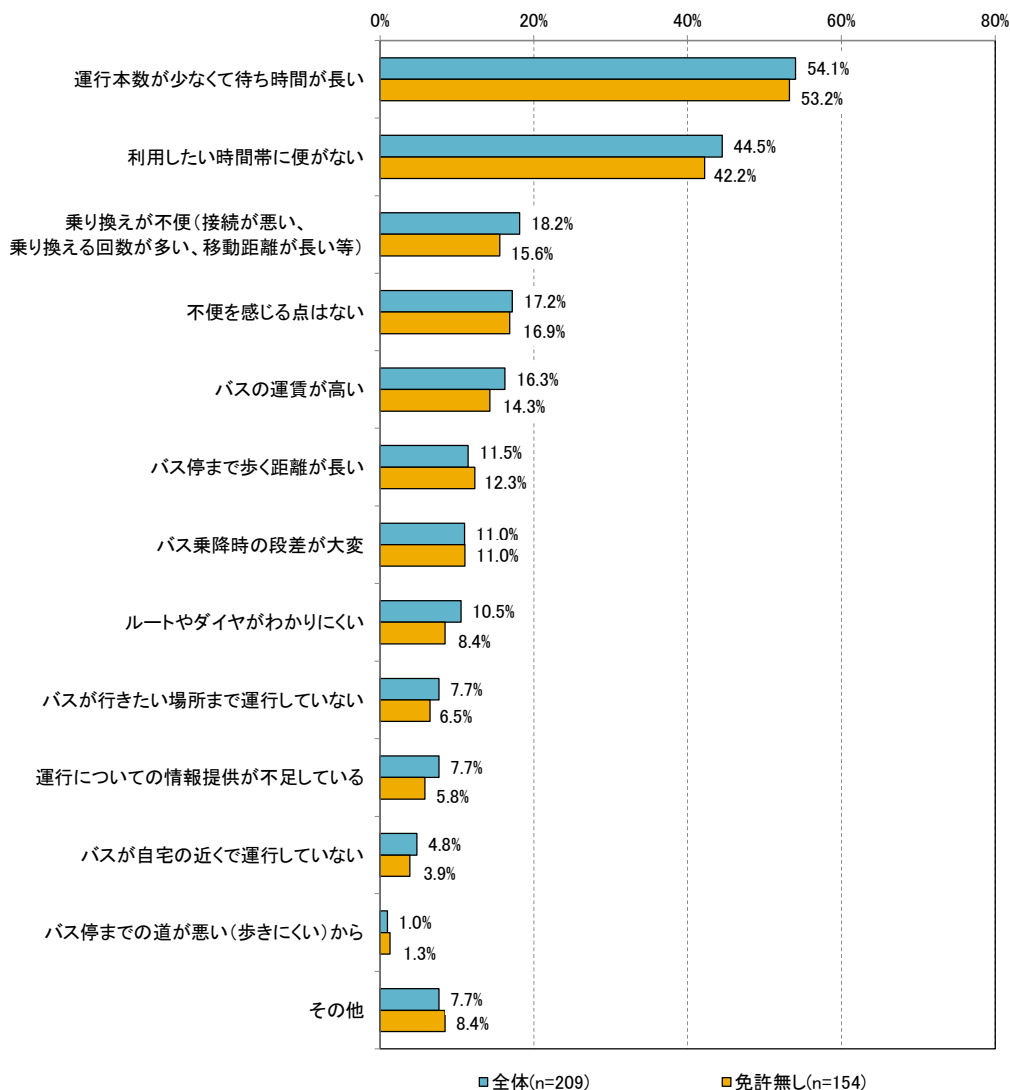


図 バスに対して不便を感じる点

(6) バスを利用しない理由

- バスを利用しない理由として、回答者全体では「車を使って移動しているから」が最も多く挙げられました。
- 一方で、運転免許証を持っていない人に絞ると、「家族や知人の送迎で移動しているから」が最も多く、次いで「自転車や徒歩で目的地まで移動できるから」「利用したい時間に便がないから」「運行本数が少なくて待ち時間が長いから」でまとまった回答が見られます。
- バスを利用しない理由が改善された場合、免許を持っていない人の15%が「利用したい」と回答しています。

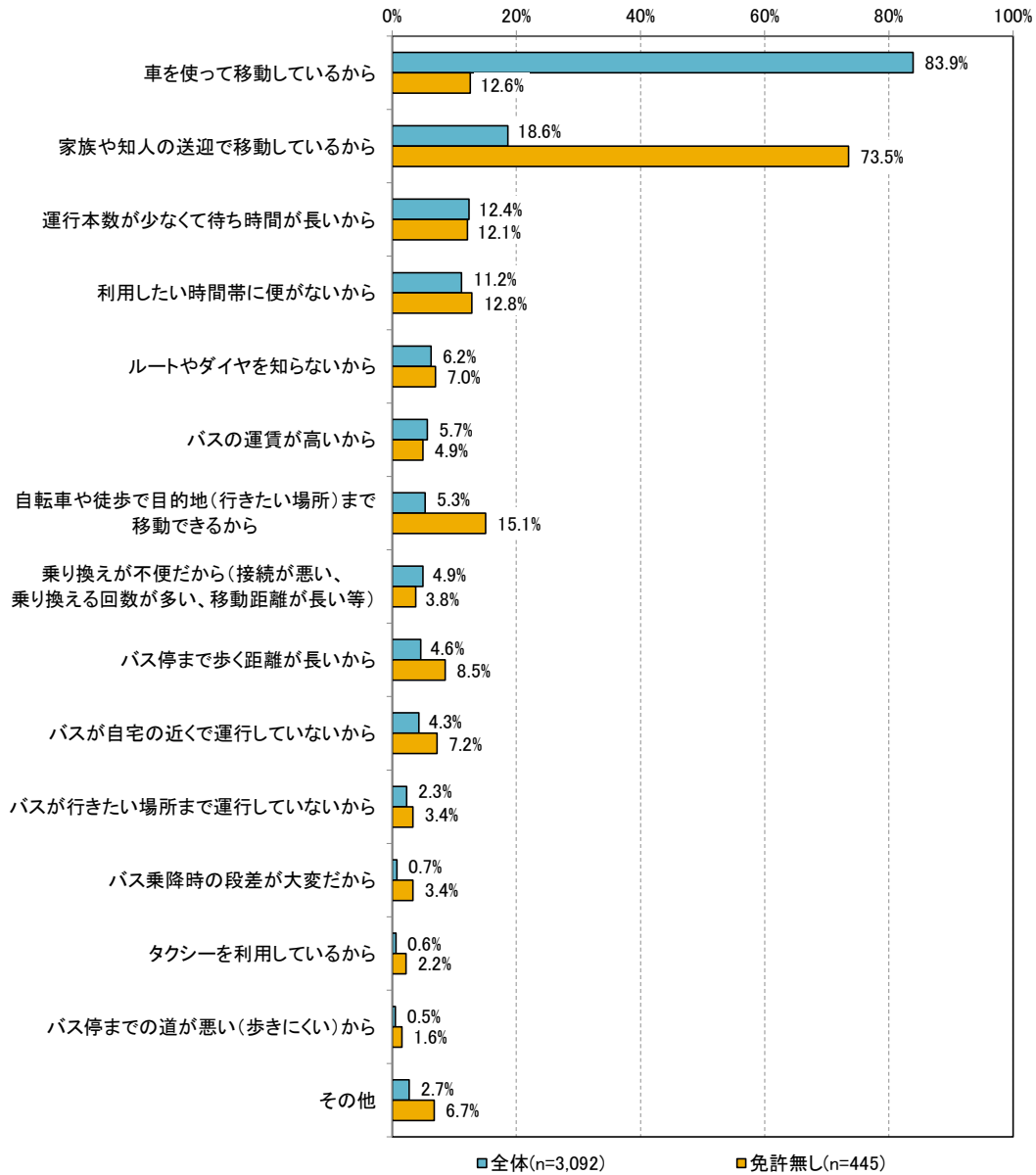


図 バスを利用しない理由(非バス利用者のみ回答)

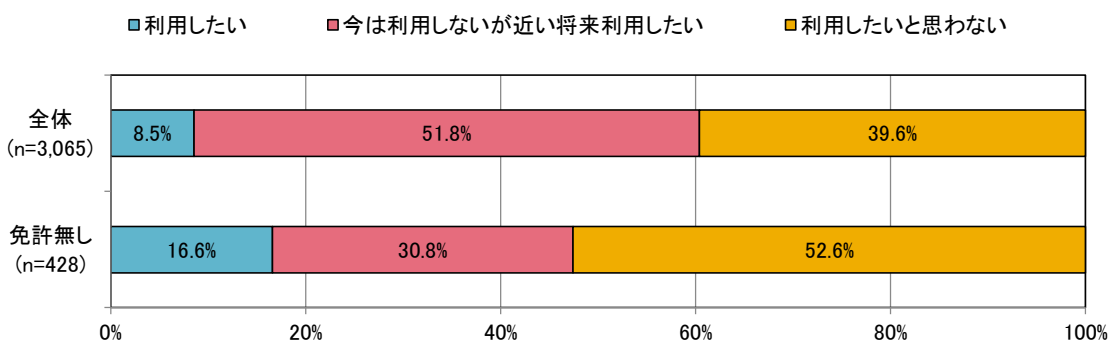


図 利用しない理由が改善された場合のバスの利用意向

(7) 新たな移動手段(仮)に関する利用の意向

- 仮に、気高循環バスが自宅の近くまで迎えに行く等、今のバスよりサービスレベルが高い乗合タクシーに変わった場合の利用意向を調査しました。
- 各地区で利用の意向が見られ、人数としては浜村、宝木、勝谷が比較的多いです。
- バス利用者の割合が高い酒津でそこまで割合が高くなかった理由としては、他地域よりもバス路線に近いエリアに住宅等があることが推察されます。

表 気高町・鹿野町で新たな移動手段ができた場合、利用意向がある人

地区	アンケート回答者数(人)	利便性の高い乗合タクシーを利用したい人(人)	地区の中で普段バスを利用したい人の割合
酒津	165	12	7.3%
瑞穂	391	35	9.0%
逢坂	397	35	8.8%
浜村	1,258	107	8.5%
宝木	577	48	8.3%
不明	148	14	9.5%
計	2,936	251	8.5%

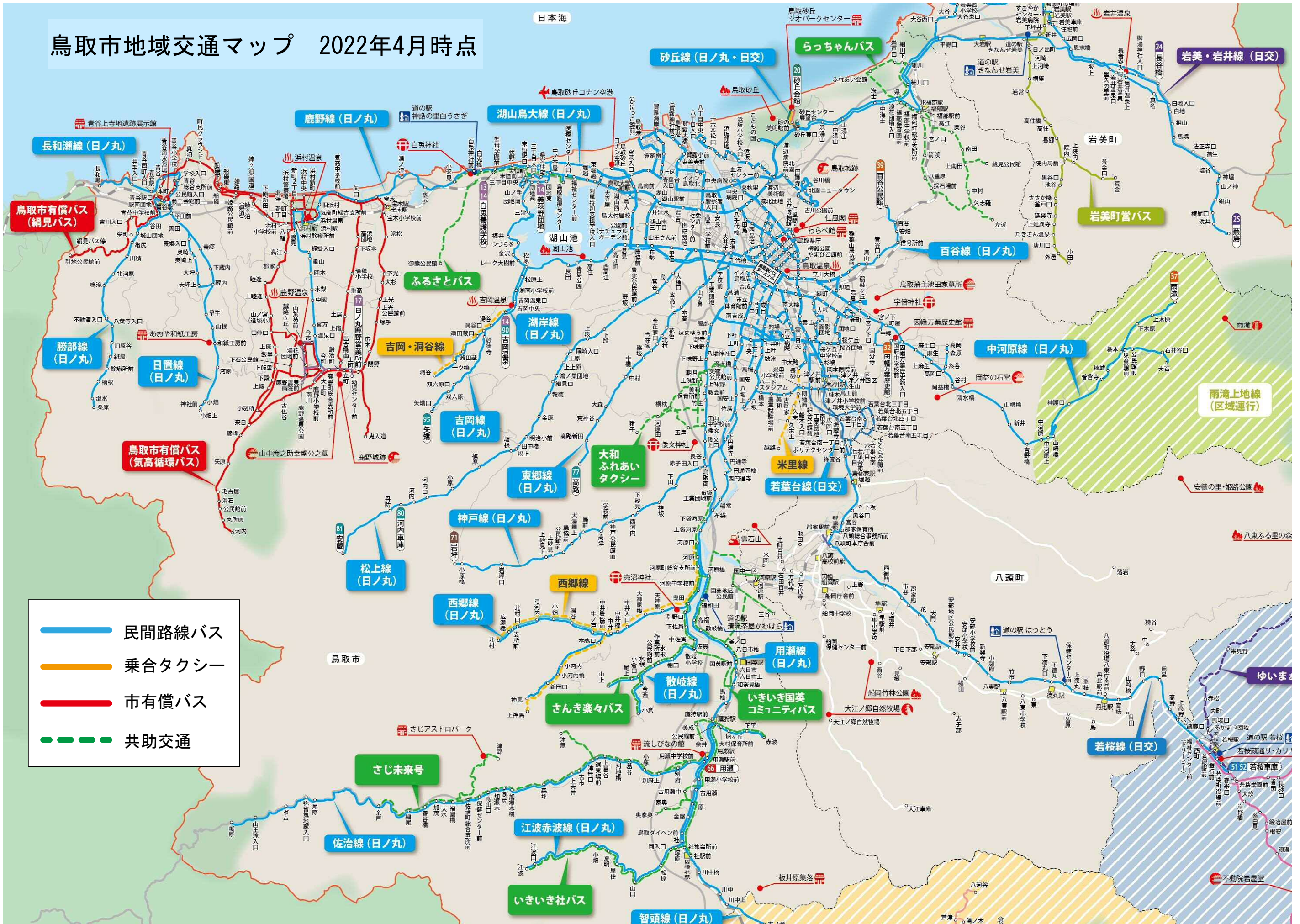
地区	アンケート回答者数(人)	利便性の高い乗合タクシーを利用したい人(人)	地区の中で普段バスを利用したい人の割合
鹿野	578	35	6.1%
勝谷	502	40	8.0%
小鷲河	256	30	11.7%
不明	45	4	8.9%
計	1,381	109	7.9%

3 調査結果のまとめ・今後の取組方針

生活交通の現状	<ul style="list-style-type: none"> ● 気高町・鹿野町の生活交通は運転者不足、タクシー営業所の撤退等、これまでも生活交通の危機に直面してきました。 ● 一方で、利用者の減少や市支出額の高止まりが続いており、特に児童・生徒が利用する時間以外のバス利用が少ない状況です。
移動に困っている人 移動の状況	<ul style="list-style-type: none"> ● 気高循環バス等のバス路線は気高町・鹿野町の広範囲で運行していますが、地域や集落によってはバス停まで距離が離れています。 ● 気高町・鹿野町の各地区で家族に送迎も頼めず、自由に使える車がない人(比較的移動環境が不便な人)が一定数見られました。 ● 主な移動の目的は買い物と通院で、買い物は浜村、通院は各町内の医療機関と町によって目的地(特性)の違いが見られます。
バスサービスの課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 「運行本数」「利用したい時間」の2点を多くのバス利用者が改善してほしい点として挙げられています。 ● バスを利用しない理由として、免許を持っていない人の多くは「送迎」を理由しており、多くの高齢者が家族や知人の送迎に依存している可能性があります。
新たな移動手段確保策 に対する意向	<ul style="list-style-type: none"> ● バスよりサービスレベルの高い乗合タクシーが運行した場合、各地区で一定の利用意向が見られました。

- 地域の人口減少や運転者不足等、生活交通に関する環境は年々変化しており、数年後も現在と同じようにバスを維持できているとは言えない状況が訪れています。
- また、地域の高齢化等によって求められるサービスが変化していることが判明しましたが、利用者が少ないバスの増便や利用時間の拡大等には、限界があるのが現状です。
- 今後は、これらの課題解決と地域のニーズになるべく対応できる形を検討し、気高町・鹿野町に適した持続可能な生活交通確保について取り組んでいく予定です。

鳥取市地域交通マップ 2022年4月時点



- 民間路線バス
- 乗合タクシー
- 市有償バス
- 共助交通

鹿野町総合支所広報の見直しについて

行政広報の目的

- ① 住民にリアルタイムな行政情報を届けられる
- ② 住民とのコミュニケーションを円滑にし、地域に愛着心を持ってもらえる
- ③ 対外への情報発信として、地域ブランド化に一役買ってくれる

鳥取市広報指針 平成31年3月

職員広報力

職員の広報意識の向上

組織広報力

しっかり届ける仕組みづくり

メディア広報力

目的に応じた最適な情報発信

市民に伝わり、市民とつながる広報

市民が知りたい情報が適切に伝わる。
市民に知らせたい情報がわかりやすく伝わる。

市政への関心が高まる。
まちづくりへの参画意欲が高まる。

市民の積極的な情報入手行動

令和4年度からの総合支所広報

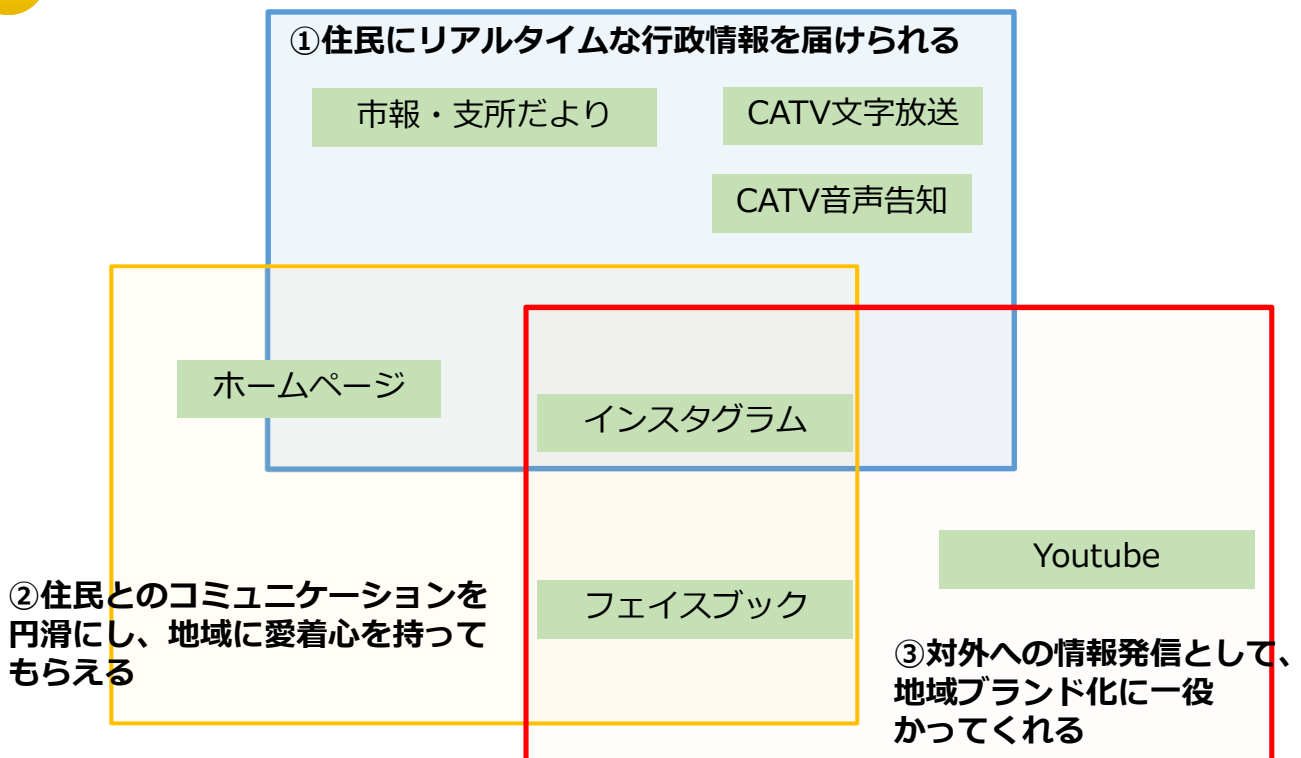
- 令和4年度4月号から鹿野町総合支所だよりは、A4両面2枚からA4両面1枚に紙面を縮小。
- 支所だよりは鹿野地域限定の情報を提供する。
- 全市に共通する情報はとっとり市報に掲載する。
- 地域の情報をこれまで以上に市報に掲載する。
- 情報の内容や伝えたい世代等によって、手段を選びながら発信。
- ホームページやSNSを十分活用して、必要な情報を必要な人に届けることができるようにする。
- SNSを活用し、リアルタイムに地域の魅力を全国に発信する。



鳥取市が活用している情報発信手段

利用している主な情報ツール	特性・強み	課題等
とっとり市報 鹿野町総合支所だより	保存して読み返すことができる 毎月自宅まで届けられる 市民に定着している	読んでもらえているか 支所だよりと内容が重複していないか
ホームページ	パソコン、スマートフォンがあればいつでもアクセスできる 豊富な情報が提供できる ピンポイントで検索できる	使える人、使えない人がある 情報鮮度が確保されているか
フェイスブック インスタグラム	速報性がある 全国に発信できる 人同士で情報が拡散できる 受け取り方の反応がわかりやすい	受け取り手が少ない 情報の対象や内容が整理できているか 利用者が少ない
CATV 文字放送	テレビで情報を伝えることができる	CATVに加入していることが前提
CATV 音声告知	声で情報を伝えることができる	CATVに加入していることが前提
Youtube	動画でわかりやすい説明ができる 全国に発信できる	利用者が限定される
LINE	友達登録でいつでもチェックできる	利用者が限定される
FMとっとり	チャンネルを合わせることで聞くことができる	ほしい情報をピンポイントに得ることができない

総合支所からの情報発信



令和 4 年度 鹿野町総合支所の職員配置

支所日よりデータ抜粋（一部修正）

鹿野町総合支所の組織と主な業務 （令和 4 年 5 月 1 日現在 電話番号は上記のとおり）

支所長 岡本幸子

副支所長 小林克己(地域振興課長兼務、教育委員会鹿野町分室長併任)



地域振興課 課長 小林克己

課長補佐 宮本 健
山口仁子 三谷裕之 安藤佑一

【主な業務】

総合支所内の総合調整、コミュニティ振興、広報・広聴、選挙、統計調査、観光、交通安全、危機管理(消防・防災)

市民福祉課 課長 横山幸恵

福田良子 村田寿文 安達麻美 洞崎秀樹
柳澤亜紀子(保健師) 山崎千深 平尾和幸

【主な業務】

市税、戸籍、住民登録、各種証明、国民年金、国民健康保険、介護保険、環境衛生、各種福祉、人権啓発、保育園の入所

教育委員会鹿野町分室 分室長 小林克己(併任)

※地域振興課職員が分室業務も担当します。
(トレーニングセンター勤務) 保崎義範 渡邊恵子

【主な業務】

生涯学習の推進、青少年育成、社会教育、社会体育、所管施設の管理※トレーニングセンターでは図書の貸し出しを行っています。

産業建設課 課長 山柘靖典

長田 寛 杉本裕未 米田 勉 谷口敏活
岡田道徳 米田 洋

【主な業務】

農林、商工、有害鳥獣、道路、除雪、河川、下水道、公園、温泉、市営住宅

鳥取市 鹿野町総合支所 職員配置 【2022年5月1日】

〒689-0405 鳥取市鹿野町鹿野1517

●代表TEL:0857-84-2011 ○FAX:0857-84-2598

○コールセンター:0857-22-8111

○地域振興課30-8682 市民福祉課30-8684 産業建設課30-8686 教委分室30-8687

